

島根県宍道町,大森神社旧神職宍道(池田)家蔵『勲業
宍道家正系』(二):
翻刻『出雲勲業宍道家系譜』 宍道町神社研究の資料
として

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2003-03-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 服部, 旦 メールアドレス: 所属:
URL	https://otsuma.repo.nii.ac.jp/records/1376

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



島根県宍道町、大森神社旧神職宍道(池田)家蔵『勲業宍道家正系』(二)

——翻刻『出雲勲業宍道家系譜』 宍道町神社研究の資料として——

服部 旦あさけ

はじめに

前編(一)『大妻国文』31号、平成12(2000)年3月に於て、162『勲業宍道家正系』(文書②)を翻刻紹介し、続編でこの系図の批判を行ない、系図の作成時期・作成者(の性格)・作成の目的等の推測をすとした。今回これに先き立ち、予め二つの文書を翻刻紹介する。これらと関連させて考察すれば、論証がより確実になると考える。初めに、『出雲勲業宍道家系譜』(前編(二)〈89頁12行目〜16行目〉に若干触れた)を紹介する。

*

*

*

前編(一)の誤植等訂正(誤→正)

92頁9行目	縮少率→縮小率	同 30	宜↓宜・四海太平→四海太平	96頁55	法脈↓法脈	98頁104	飛驒↓飛驒 (ママ)
93頁11行目	齊 (齊) ↓齋	同 32	戌戌↓戌戌 (ママ)	98頁62	法脈↓法脈	99頁111	永祿↓永祿 (ママ)
94頁29	専↓専	95頁44	国造↓國造	98頁91	大平寺殿↓太平寺殿		文録↓文録 (ママ)

一 文書②3 163 『出雲勲業宍道家系譜』解説

冊子1冊、原裝、表紙縹色縦35.3cm・横18.2cm、表紙表左側に太線と細線（木版刷・各1本）の郭内に、出雲勲業宍道家系譜、と墨書した題簽（縦20.2cm・横4.3cm）を貼る。内題なし。本文と同じ料紙を半截した1枚（半丁分）を見返しとし、その裏に陰刻丸印（径4.8cm）一顆（宍道家印）を捺し、印の上方に宍道家印と書く（宍道峰清の手跡）。

本文29丁、墨附14丁半。縦20.2cm・幅1.1cmの木版刷黒色罫線26行（柱に「笹」の字と「宍道家藏書」を刷る）を1丁とする半紙（楮紙）を使用し、袋綴じにしている。

内容は162と密接な関連があり、162を詳細に発展させたものではないかと思われる。「正世」から「五十二世」の当主とそれらの子女、および関連事項の手跡は宍道峰清である。欄外上の注記（頭注）も大部分が峰清の手跡である。峰清による書写（作成）年代は、本文料紙の柱に「宍道家藏書」とあるから、明治維新以後である。即ち、前編（一）に記した如く、佐々布の大森神社神職の宍道氏は、明治維新時に池田姓を改めたもの（89ページ注（3））だからである。

手跡・墨附から判断すると、「正世」から「五十一世」まではある時期にさして時を隔てずに書き、「五十二世」はそれよりも時を置いて、峰清の娘清（壽賀）が婿養子藤三郎と結婚（明治33（'00）年2月15日入籍：小浜幸子氏所蔵の戸籍謄本）した後、清の次男達（スミタ）が明治41（'08）年に生まれるまでの間に峰清が書き加えたものと思われる。355行目の「大正元年」と「大正二年」の注記は、さらにそれよりも後の（最も遅い時期の）峰清による加筆である。欄外上の峰清注の多くは、本文と同じ頃、もしくはさして遅れずに認めたものと推測される。但し、墨附から見て折に触れて注記し、晩年の頃まで続いたものもある（361行目上に「明治三十五年十月廿二日」とある如く）と思う。

峰清の大正8（'19）年没後にも若干の加筆が行なわれている。その大半は峰清の孫宍道勲氏（361行目の人物）によるもので

ある。その外には峰清の女婿藤三郎（357行目の人物）のものと推測される手跡がある。これらの加筆箇所には総て服部の注記をカッコ内に附した。勲氏による加筆の部分は357行目「五十三世宍道勲」から始まり、その妻と娘4人の事項（365行目～369行目。この翻刻では省略した）で終る。勲氏による注記のうち最も新しいものは、宍道みつの死亡記事「昭和四十七年十月二十三日」（358行目上）である。勲氏は昭和58（83）年10月4日の没である。勲氏の加筆の年月が明確でないものも、恐らくは昭和47（72）年前後までに行なわれたのではなからうか。

翻刻に当たっては可能な限り原本の体裁を復元するよう努めた。しかし、意味内容を把握しやすくするため、活字の大きさ・字間を原文と僅かに変更した箇所がある。欄外上注記（頭注）は、半丁ごとにまとめてその丁の末尾に移動し、頭注の位置する本文の行数をゴシック体で2～4上の如く示し、頭注内での改行箇所を附した。漢字は特に翻刻の困難な字は少なかったが、稀に通行の活字に改めたものもある。考察の便宜上、行頭に通し番号をゴシック体で振った。これまで史料番号をゴシック体で示して来たため、考察においては行番号を通常の活字とし、「行目」は省略する。

二 163 『出雲勲業宍道家系譜』翻刻

（表紙表）

出雲勲業宍道家系譜（題簽）

（見返し裏）

宍道家印 ○（陰刻丸印）

(1才)

出雲勲業六道家正系

- 1 天孫岩若少領出雲臣 清太出雲臣父也 大神之後胤
- 2 正世清太^本出雲臣 岩若之男仁賢天皇四年辛未三月三日降產
用明天皇元年丙午七月三日薨壽九十六穴道山葬
- 3 室伊美比^{能野}女 伊富伎彥神ノ女 欽明天皇十九年戊寅四月十七日
薨壽五十八青木山葬
- 4 子 伊美子宿祢
- 5 同 古意
- 6 同 出雲宿祢^道
- 7 二世伊美子 清太ノ長男 繼體天皇二十三年己酉九月三日產
欽明天皇二十年己卯十一月九日薨壽四十一穴道山葬
- 8 室井代子比女 秋鹿彥ノ女 繼體天皇二十三年產
欽明天皇二十三年壬午正月廿一日四十四穴道山葬
- 9 子 勝尾男
- 10 同 井止女
- 11 同 古茂志麻呂
- 12 同 清月止臣
- 13 學坊 天昌

〔1才注〕

- 1上 清^{スミ}太^タ 254上 二十四代 ○仁賢帝 清太^{スミ}臣^タ六十二 時佛法渡來 欽明御宇十三 年ナリ 56上 二
十四代 仁賢帝四年未 ヨリ大化元乙巳^イ年 迄年間 一百五十四年トナル 7上 三十二代ハ 用明帝ナリ 810上
二十七代 ○繼體帝 三代実祿^ミ曰 貞觀十七年乙未正月 廿一日乙巳内宴近臣賦 詩奏樂如常儀宴 竟賜祿授文伊美 古廣田外從

五位下 11 12上 仁賢帝四年辛未」ヨリ明治元年戊辰迄」千三百八十六年

(1ウ)

- 14 同 早比女
- 15 三世加津男宿祢 伊美子ノ長男 欽明天皇二年辛酉七月八日産 推古天皇十七年己巳七月七日六十九穴道山葬
- 16 室乙井比女 丹波丹津子ノ女 推古天皇十一年癸亥十二月二日 薨寿五十七穴道山葬
- 17 四世清月臣 伊美子宿祢ノ三男 欽明天皇十四年癸酉五月十七日産 大化五己酉八月四日薨寿九十七桶縫郡葦原山葬
- 18 室益加比女 国造齊屋臣ノ女 欽明天皇二十一年庚辰五月産 舒明天皇十一年己亥八月十三日薨寿八十
- 19 子 成王
- 20 五世成王 清月止臣ノ一男推古天皇七年己未十月廿三日産 天智天皇八年己巳十一月九日薨寿七十一葦原山葬
- 21 室陸井加比女 忌部宿祢ノ女 推古天皇八年庚申産 白鳳元年壬申四月六日七十三葦原山葬
- 22 子 伊古美
- 23 六世伊古美雄君 成王ノ一子 舒明天皇十年戊戌二月二日産丹波秦田出雲神社一宮司 白鳳五年丙子六月廿三日薨寿三十九
- 24 室井代比女 日置大臣ノ女 大化元乙巳三月九日産 和銅六年癸丑十一月四日六十九丹波大野谷口郭山葬
- 25 子 武尾上
- 26 同 大武

(1ウ注)

15上 三十代」○欽明帝 20上 三十四代」推古帝 21上 忌部連 22 25上 物部ノ出雲勲業ハ雄君也」丹

鳥根県安道町、大森神社旧神職安道（池田）家蔵『勲業穴道家正系』（二） 九五

波国桑田郡「出雲神社」一宮司「駄鈴雄君ノ所用」駄路八十五代神功皇「后五十年始テ駄路」ヲ造ル

26上

(23行目六世ノアタ

マカラ線ヲ伸バス：旦」三十五代」○舒明帝

(2才)

27 同 伊志見連 伊志見ハ石見ナリ石ヲ多クミルヨリナリ伊自牟伊甚アリ
風土記云伊古(志)美ノ誤リト云フ

28 七世武尾上大臣 伊古美主長男白鳳元年壬申正月元日降産
延暦三年甲子正月六日薨寿百十三大和国山邊山葬

宣命

武尾上大臣

30 大和國吉野金峯神社

31 同 山邊郡坐大國魂神社

32 出雲神五社

33 被綸旨傳右以王道者專神明之加護冥助有丹誠者令感

34 政理宜建雄大臣勸賞而四海大平之可依請云依

35 天氣狀如件

36 文武二年 戊戌 三月三日 王子

37 室式邊比女 武尾上大臣ノ室
白鳳四年乙亥九月六日産
天平十一年己卯八月四日六十五大和山邊山葬

38 子 出雲武宿祢

39

(2才注)

28上 四十代」○天武帝元年

29 34上

日本紀曰「四十代天武天皇」物部雄君ハ「白鳳五年」月死ス「白鳳元年壬申」東

國ノ御幸ニ」隨テ大切アル故」ニ内大紫位ヲ」贈玉フ是位」ヲ贈ノ始ナリ

(2ウ)

40 同 水速止女

41 八世出雲武宿祢 武尾上大臣ノ長男 文武二年戊戌三月十五日産
延暦五年丙寅十二月九日九十山邊山葬

42 室豊比女 大和彦ノ女 慶雲元年辰七月九日生
延暦十年辛未正月十八日八十八山邊山葬

43 子 出雲磨

44 同 意字磨

45 同 鳥木飛

46 同 廣貞

47 同 鴉早鳴瀬

48 同 伊曾女

49 九世 井美古出雲磨 「物部臣又勲業ト云フ」
出雲武ノ長子養老七年癸亥正月廿五日産
宝龜元年庚戌九月十九日四十八山邊山葬

50 室飯多理姫 出雲矛山ノ女 養老七年癸亥十一月九日生
宝龜五年甲寅二月廿二日五十二山邊山葬

51 子 飯田比女 天平勝宝六年甲午七月三日生
天平宝字二年己戌十二月九日葬

52 十世 穴道鴉早鳴瀬出雲勲業大臣 四十八代○称徳帝元年
出雲武ノ五男

〔2ウ注〕

41上 四十二代 文武帝二年戊 47 52上 五十二代 嵯峨帝ノ御宇 三代實録曰 弘仁四年壬午散位從五位上菅原朝

臣峯嗣 卒峯嗣者左京人也父 出雲朝臣廣貞長於 医官爲正五位下信濃 權守 貞觀十年改出雲爲 菅原又定金蘭方

(3才)

53 天平神護元年乙巳正月元日降産 承和十二乙丑四月六日報命八十一
山邊山葬大同四年己丑二月入内大臣勲位賜布

54 室八重比姫 飯田理姫ノ妹 宝龜四年癸丑二月廿三日産
齋衡元甲戌十月九日八十二 攝縫郡葦原山葬
葦原山ノ三宮是也

55 子 吉子

56 十一世國造左大史吉朝臣六位 勲業鳴瀬一子国造兼在京之官人

57 延曆十三年甲戌七月十六日産
寛平八年丙辰二月十一日百三丹波谷口山葬

58 室伊吹比女 越前国敦賀田結連ノ女

59 延曆十四年乙亥春出産
貞觀十六年甲午七月十九日八十大和国吉野山葬

60 子 伊津麻呂

61 同 丹波宿祢

62 同 氣比連

63 同 須部

64 同 織田人

65 同 玉経

(3才注)

56 上 五十代」○桓武帝十三年

(3ウ)

66 同 井代平

67 十二世伊津磨 勲位 吉朝臣長男 弘仁元庚寅二月廿五日産 天長二乙巳十二月五日十六歳越前国田結葬

68 吉国造ノ室 室伊吹姫ノ妹ノ子 伊津磨 越前大領兼国造田結宿祢 幸比女

69 十三世織田人 吉朝臣ノ五男 勲六位 天長十癸丑七月廿八日産 延喜四甲子十一月十六日吉野山葬

70 室林姫 大和国造鴨都ノ女 斎衡元甲戌正月九日産 承平四甲午二月朔日八十一吉野山葬

71 子 中南国造 時天宿祢

72 同 蒼洞僧正

73 同 小野磨法印

74 同 民尾上

75 同 嘉代

76 同 弓磨

77 十四世勲業小野大領出雲臣 織田人ノ三男 大領活田法印 寛平五年癸丑三月廿一日産 天延二年甲戌十一月二日八十二大和金峯山下葬

78

〔3ウ注〕

67上 五十二代〕○嵯峨帝 69上 五十三代〕○淳和帝 77上 五十九代〕○宇多帝

〔4才〕

79 室和泉姫 小野朝臣茂家ノ女 昌泰二己未七月二日産 應和三癸亥五月廿六日六十五金峯山葬

80 子 圓德僧正 幼名吉屋丸

島根県六道町、大森神社旧神職六道（池田）家蔵『勲業六道家正系』（二）

- 81 同 公部連
 82 同 玄道上人房治
 83 同 井木女禪尼
 84 十五世圓德大僧正 天台兼修驗 小野長男 彦山一派也法脉後十二ヶ院トナル
〇應永
六十代
 延長八年寅十一月十八日産
 天延二甲戌七月三日四十五大和金峯院葬
 85 室室野姫 紀勝吉朝臣ノ女 承平二壬辰十二月一日生
 貞元二丁丑四月三日四十六葬
 按スルニ圓德ノ墓地大森ノ御墓田ノ山腹ニ在ル山伏塚是也故ニミハカダ
 ノ小字アル本郷友田ノ田地ニ〇吉野田ト云フアリ(以上二行峰清ノ朱筆ニ旦)
 86 子 圓壽僧正
 87 同 太木臣
 88 同 伊佐姫
 89 同 大清僧都
 90 十六世圓壽僧正 天台正律 開山 日照山立雲院
六十代
〇村上帝
 91

〔4才注〕

- 82 〆 83 上 日本紀云「三十四代推古帝」三十二年二四月「僧正ノ官始マル」
 義眞ニ玉フ是「初也」 86 〆 87 上 天平十七年行基「ヲ以大僧正ヲ始」貞觀七年権「僧正ヲ始」
 心足寺」是ナリ 91 上 日照山ハ「朝日山」

(4ウ)

- 92 天曆八甲寅九月六日生
 長徳二丙申二月四日出雲穴道郷立雲院入定
 93 大祖正十六世太木臣勲業出雲臣 圓德僧正二男

94 天徳元年丁巳正月元旦降誕 康平七年甲辰正月廿一日百八歳出雲国金峯山葬 正暦三壬辰九月出雲国宍道郷白石山ニ玉城ヲ築玉フ則齋場也

95 室式部姫 丹波連康頼ノ妹 應和元辛酉九月四日生 長和四乙卯五月五日

96 子 康朝 康朝ハ王氏ニシテ實子アラザルト母ハ丹波谷口某氏カ娘ナリ

97 同 家武

98 同 美代女 正暦三年辰八月安閑天皇之尊像勸座奉鎮者專円徳大僧正之勸座ト有ルハ誤リナリ 大清僧都ナルヘシ

99 准十六世大僧都 円徳大僧正三男 天台兼修驗 大森山伏塚ハ僧都ノ墳墓ナリ

100 康保三丙寅四月十八日生 長和五丙辰十月廿八日遷化五十一 葦原山葬出雲国天照葦原国照葦原中津葦原社別當医王院開山寺也

101 室代志姫 国造吉忠ノ女 安和二己巳十月十七日生 長元七甲戌三月十一日葬葦原ノ医王院

102 子 家比女

103 同 玄信 法脉別系有ル也

104 十七世勲業康朝朝臣 太木臣長男 寛和元乙酉七月廿一日降産 治暦二丙午五月十九日八十二報命金山郭葬

〔4ウ注〕

93上 六十二代」○村上帝 94ノ97上 安閑帝ヲ祭 六十三代」冷泉帝 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十

九」後冷泉帝 99ノ102上 全」○村上帝 六十三代」冷泉帝 六十四代」円融帝 六十五代」花山帝 六十六代」一條帝

103ノ104上 六十五代」○花山帝 七十一代」後三條帝

(5才)

105 室内侍阿野姫 具平親王ノ女

寛和二年丙戌二月六日降産
天喜三年甲午四月十一日報命六十九山郭葬
林木村御所山ノ麓ニ墓アリ故アリテ密葬ト云フ

107 子 増清
同 良元

108 十八世勲業増清五位朝臣 康朝臣ヲ長長保六甲辰七月九日生
寛弘元年甲辰
嘉保二年乙亥三月廿四日九十五金山葬

109 室家姫 大清僧都ノ女 寛弘二年乙巳十一月九日生
承保三年丙卯正月十八日金山郭葬

110 子 安清

111 同 伊代女

112 同 久吉

113 同 惠

114 同 小花

115 同 古代

116 同 民

117 同 玄山和尚 作山僧都

〔5才注〕

105ノ106上 薦ヶ巢保城」山下ニ葬墳墓ノ」地御所山ト云フ

108上 六十六代」〇一條帝」六十七」三條帝」七十三」堀川帝

〔5ウ〕

118 十九世六道伊豫守櫻守名伊豫守兼ハシ安清朝臣 増清長男

119 長元四辛未四月十一日産

長治元甲申十二月二日報命七十四金山郭葬

120 室綾姫 霍岡連ノ女

長元七甲戌正月二日生
永久四丙申五月四日報命八十三金山郭葬

121 子 種清

122 同 茂清

123 同 達尾

124 同 春女

125 二十世宍道五位茂清朝臣 安清之二男

延久五年癸丑七月二十六日生
元永二己亥三月八日報命四十七金山郭立雲院葬

127 室楽女 日吉内田ノ女

承保二乙卯四月廿一日生
長承三年甲寅九月十一日立雲院葬六十才

128 子 吉平

129 同 數信

130 同 虎女

〔5ウ注〕

118 上 六十八代〕○後一條帝

125 126 上

七十一代〕○後三條帝〔七十一〕後三條帝〔七十五〕崇徳帝

〔6才〕

131 圓海僧都 久安元年乙丑南都法師ノタメニ歸国金峯山焼失

132 廿一世入道吉平 主典史察 茂清長男

133 康和四千年六月十一日降生
長承四乙卯正月九日報壽三十四立雲院葬

鳥根県六道町、大森神社旧神職宍道（池田）家蔵『勲業宍道家正系』（二）

134 室豐井姫 日吉内田ノ女 康和五年癸未十一月二日生
元暦元年甲辰三月三日八十二立雲院葬

135 子 頼定

136 同 定清

137 二十二世六道五位頼定朝臣 吉平長男

138 天治二乙巳四月十八日正生
建保六戊寅十一月十四日報命九十四立雲院葬

139 室家姫 布志名保定ノ女 保延元乙卯二月九日生
建久四癸丑四月八日五十八立雲院葬

140 子 頼清

141 二十三世六道出羽守頼清朝臣 頼定一男

142 仁安三戊子正月二産
文仁永十一年甲戌八月二十一日報壽百七歳立雲院入葬

143 室照姫 保定ノ孫女 承安四甲午七月九日生
寛元三乙巳六月二十八日報壽七十二立雲院入葬

〔6才注〕

132 〽 133 上 七十三代「〇堀川帝」七十四 鳥羽帝 七十六 近衛帝 137 〽 138 上 七十五代「〇崇徳帝」七十五 崇徳帝

139 上 七十六 近衛帝 141 〽 142 上 七十九代「〇六條帝」七十九 六條帝 八十九 龜山帝 143 上 八十 高倉帝

八十七 後嵯峨帝

〔6ウ〕

144 子 秀安 頼清ノ當時文治元年 巳源頼朝天下ヲ握ス
頼定頼清ノ父子佐々木氏ノ政ニ從ス全ク食地没却ス

145 同 政女

146 二十四世六道三位秀安朝臣 賴清長男
三位ハ全ク呼名ノ称ナラン
宗泉寺入道秀安是也

建仁二年壬戌七月十六日生
建長五年癸丑七月三日報壽五十二立雲院葬

147 室佐野姫 国造政孝ノ女
元久二乙丑十一月十七日生
建治元乙亥三月二十一日報壽七十一立雲院葬

148 子 武清
秀安ニ至テ佐々木六道ノ交誼親疎ノ別ナク特ニ佐々木氏ヲ乞フ而已
武清ニ至テ佐々木吉宗ノ女ヲ娶トル両氏ヲ以一氏トス故ニ六道佐々木ト云フ

149 同 孝房
玄律上人修驗仙風ヲ數ク

150 同 登女

151 同 久

152 同 政富

153 同 信道和尚

154 同 玄律上人

155 同 秀武

〔6ウ注〕

146 S 148 上 八十三代「○土御門帝」八十三「土御門帝」八十八「後深中帝」土御門帝「九十」後宇多帝

〔7才〕

157 二十五世六道三位武清朝臣 秀安長男

158 貞永元年壬辰十月九日生
正和三年甲寅七月十一日報壽八十三立雲院葬

159 室井屋子姫 布志名判官吉宗ノ女
仁治三年壬寅三月二日生
永仁四丙申五月十七日五十五立雲院葬

子 豐臣
同 信勝
同 種清

二十六世六道五位豐臣朝臣 武清長男

文永元年甲子正月二日生

建武元年甲戌七月十日報壽七十一立雲院葬

室絹惠姫 判官吉家ノ女 文永八年辛未九月十日生
正慶二年癸酉七月二十一日六十三立雲院葬

子 久清

同 阿井女

同 乾元僧正

二十七世六道五位久清朝臣 豐臣長男

〔7才注〕

157 上 八十六代「〇四條帝」八十六「四條帝」

163 上 164 上

八十九代「〇龜山帝」八十九「龜山帝」九十六「光嚴帝」

169 上 九十一代「〇伏見帝」

〔7ウ〕

永仁元年癸巳十一月二十日降産

應安七文中三甲寅十一月十二日報寿八十二立雲院葬（寅、辰ヲ書キ直シ、トラノルビヲフル；旦）

室榮方 山名爲幸ノ女 正安二庚子七月九日生
永和元年授元乙卯十二月三日報寿七十六立雲院葬

子 眞圓上人

同 尊正朝臣 同 日尊上人

同 吉勝

175 同 清女
 176 同 玄德僧都
 177 同 義久
 178 二十八世六道陸奥守入道尊正朝矩 久清二男
 179 正中元年甲子十月三日産
 應永五年戊寅三月十一日報寿七十五立雲院葬
 180 室中姫 持田 吉勝ノ女 元徳二庚午十一月二日生
 應永二十一年甲午八月九日報寿八十五立雲院入葬
 181 子 光清聖
 182 同 吉王

〔7ウ注〕

170 上 九十一代「伏見帝」百代「後円融帝 178 179 上 九十五代」○後醍醐帝「九十五」後醍醐帝「百一代」後小松帝

〔8オ〕

183 同 登世女
 184 同 登幾女
 185 同 嚴道上人
 186 二十九世主玉光清出雲宿祢 尊正長子
 正平十一年延文元年丙申七月二十三日生
 永享五年癸丑十二月十七日報命七十八立雲院葬
 188 室左野女 鹽治友貞ノ女 正平二十二貞治六年丁未四月九日生
 永享七年乙卯七月二十日報寿六十九立雲院葬
 189 子 正長

- 190 同 武久 同佐々布居城
三十世六道三河守正長朝臣 光清長男
191 明德四年癸酉十二月廿九日生
應永三十四年丁未九月二十九日
192 室慶方 佐々木高次ノ女 慶永四年丁丑五月七日生
延德二年庚戌八月六日報寿九十四立雲院葬
193 子 眞女
194 同 正清
195

〔8才注〕

- 185上 九十六〔光嚴帝
186上 九十九代〕○後光嚴帝
188上 九十九代〔後光嚴帝
191上 百一代〕後園融帝

〔8ウ〕

- 196 三十一世室慶方和泉 法名慶徳院殿
197 應永三十四丁未十二月二日治世
198 三十二世佐々木近江守源義清朝臣 佐々木正興ノ男ニシテ実ハ正長ノ養子
應永二十九年壬寅九月二日生
199 寬正二年辛巳八月廿二日四十歳慶徳寺葬 瑞應寺殿太雅雄公大禪定門
應永三十一年甲辰三月十七日生
200 室眞姫 正長息女 文明十六甲辰七月五日報寿六十一立雲院入葬
201 子 義秀
202 同 和佐女
203 同 家女
204 同 信義上人 同 垂心

205 三十三世六道伊豫守出雲正清 正長ノ男

206 應永三十四年丁未十二月二十三日産
文龜三年癸亥八月廿五日報寿七十七立雲院葬 法名雲石寺殿

207 室幸方 宍道二郎武久ノ女 永享二庚戌三月十九日生
文明十八丙午二月九日五十七立雲院葬

208 子 久尾麿 改遠江守源正氏

〔8ウ注〕

196 197上 百二〇後円融「秀義ノ男」兄太郎定綱隠州ヲ受領ス」第五郎義清「雲州ヲ受領ス」秀義ノ四男「佐々木四郎右エ門尉
高綱（秀義以下ハ朱筆、峰清手跡；旦） 198 200上 百二代〇稱光帝」百二代「稱光帝」百三代「後花園帝」百四代「後土御
門帝 205 206上 〇稱光帝」百五代」後柏原帝

（9才）

209 三十四世佐々木式部大輔義秀 義清長男 法名雲松寺殿

210 文安元年甲子二月廿六日生
明應二年癸丑七月三日報寿五十慶徳院葬

211 室満女 粟原七郎兵衛尉ノ女 康正元年乙亥七月十四日生
永正二年乙丑十一月晦日五十二立雲院葬

212 子 政姫

213 春 女

214 同順寛 景德寺別系法脉

215 子 前司農率翁林々禪定門高清
216 同 太平寺殿

217 同 普門寺殿 法頭大座

218 三十五世佐々木遠江守源正氏 正清長男 源姓ノ始トス 法名西成寺(法名西成寺ノ5字青インクニヨル後人ハ六道勲?ノ加筆。更ニ後人ハ勲?ノコレヲ黒ボールペンニテ抹消シ旦)

219 宝徳二年庚午二月二日生

220 室政姫 天文二年癸巳九月九日報寿八十四立雲院入

221 義秀朝臣ノ女 文明二年庚寅四月六日生

一子 茂正

〔9才注〕

209 上 百三代」○後花園帝 218 上 百三代」○後花園帝

〔9ウ〕

222 二 同 吉宗 八 同 慶隆

223 三 同 正次 九 同 慶徳 初景德

224 四 同 日清 十 同 棟慶

225 五 同 久女

226 六 同 友定

227 七 同 久勝

228 三十六世六道伊豫守源正次 正氏三男 法名慶隆寺

229 文明十六年甲辰七月九日生

230 室久姫 佐々木為氏ノ女 文明十七年乙巳十二月二十一日生
天文三年甲午七月二日報寿五十一慶隆寺葬
天文十二癸卯三月廿八日報寿五十九立花院葬

「

231 子 隆慶 伊豫守

232 同 正繁 備前守 又号老岐守

233 同 京姫

234 活田池田姓統 坪内両流 元生田ト称スル欵 古文ニ活田生田池田同一トス

〔9ウ注〕

228 上 百四代」○後土御門帝 233 234 上 元坪ノ内ハ城山檢」校成是也」當今字^口坪内

〔10オ〕

235 一世 正繁 池田領老岐守 大森本宮社務職

236 二世 正貞 宍道左京 坪内ノ家祖分統ス 榑縫郡國留村佐々布ノ字是ナリ

237 三世 定置 池田直式部太夫 武田ヘ分統ス 按スルニ神門郡神西八幡宮神主家ハ竹田氏ナリ

238 四世 正置 池田左京 坪内ト称ス万田村神職ノ祖ナリト云フ 即 按スルニ榑縫郡國留村字佐々布ノ地名是也今康國寺」ノ地ナリ

239 五世 氏種 宍道形部大夫 遠藤ト称ス 久木神主トナル

240 六世 繁置 池田民部大夫 水率谷邊ニ葬ル 又祝部週ニ祭ル 萩田住城ナリト云フ

241 三十七世宍道伊豫守隆慶 正次ノ長男 法名經慶寺

242 文龜^二壬戌三月十九日産 天文二十三年甲寅四月八日報命五十三經慶寺山葬

243 室榮方 毛利飛彈女^二 永正元甲子四月十九日生 中野城主時元 永録十二年己巳十一月十三日六十六湯場ノ片田葬

- 244 子 綿姫 六子 足慶
 245 一 同 武矩(姫ヲ青キ武シノリノルビニ) 七 同 隆信 後経慶ト云
 246 二 同 幸吉 八 同 正慶 寫ケ巢城主
 247 三 同 隆清 伊豫守 九 同 正重 安道八郎備前守政慶
 (後人ハ安道勲?ノ本割注ヲボールペン棒線デ抹消:旦)

〔10才注〕

- 235ノ236上 居紋「安道氏」薊 輪桐 三巴 237ノ240上 活田氏「生田氏ノ時」居紋同薊巴「生田改池田トス」同時居紋ヲ
 揚ケ羽ノ蝶トス」上ケ羽蝶ハ後世鳥取」藩主池田家ヨリ更ニ改メタルモノナリケン
 飯石郡中野」城主飛彈守

(10ウ)

- 248 白石(金山城主) 安道遠江守正隆(後人ハ安道勲?ノ注記ヲボールペン棒線デ抹消:旦)
 四 同正隆 遠江守 十 同 數清 佐世八幡社司
 安道城主安道五郎兵衛尉高慶(後人ハ安道勲?ノボールペン棒線デ抹消:旦)
 249 五 同 高慶 五郎入道雲雲寺 同 長姫
 250 三十八世伊豫守隆清 隆慶ノ三男
 251 天文元年壬辰十一月二日産
 元龜元年庚午十一月六日報命三十九屯倉田中葬
 252 室鈴野姫 安道武藏守成吉女 天文四年乙未七月十四日生
 慶長九甲辰九月廿七日報命七十慶隆寺葬
 253 子 小梅女 同道綱大部

254	同 梅麿 元慶	同 吉家
255	同 國清	同 邦秋 田淵少輔
256	同 勇姫	
257	三十九世六道安房守國清勲業 隆清男 慶甫源賀大禪定門	
258	永録三年庚申正月六日産 文録三年甲午十二月朔日報壽三十五祝部迫山葬	
259	室波姫 池田正直ノ娘 永録四年辛酉七月廿一日生 元和九年癸亥二月二日報壽六十三慶隆寺葬	
260	子 実清	

〔10ウ注〕

250上 百六代^レ○後奈良帝 257上 百六代^レ後陽成帝^レ正親（後陽成ヲ墨線デ抹消、左ニ正親ニ旦）

〔11才〕

261	同 正女
262	同 家清
263	同 芳清
264	同 徳女
265	四十世六道形部少輔實清 歛譽院殿宗喜大居士
266	天正五年丁丑十一月六日産 寛文四年甲辰八月四日報寿八十八祝部迫山葬
267	室小梅姫 米原廣総ノ女 天正七己卯正月二日生 寛永二十癸未六月廿七日六十五祝部迫葬
268	四十一世六道兵庫助家清 國清三男二男 （峰清筆ノ三男ヲ後人ハ六道勲？ノボールペン棒線デ抹消シ長ト右横ニ訂正、更ニ長ヲボールペンデ抹消シ、下方ニ男ヲ加筆ニ旦）

島根県六道町、大森神社旧神職六道（池田）家蔵『勲業六道家正系』（二）

269 天正十一年癸未十月二十七日産
延寶元年丑十二月三日報寿九十一 祝部山葬
270 室式部姫 佐々木義信女 天正十二年甲申七月二日生
正保四年丁亥七月二日報寿六十四 祝部追山葬
271 子 重次
272 同 勝姫
273 四十二世六道越前守源重次從五位 又信清 家清長子

〔11才注〕

264 265 上 百七代」○正親町帝「百八代」後陽成帝「墨線デ抹消：旦」 268 上 ○同帝 272 273 上 百八代」○後陽成帝「同帝」(墨線デ抹消：旦)

(11ウ)

274 慶長五年庚子十一月十九日産
貞享二年乙丑九月念三日報寿八十六 祝部追山葬
275 室中將姫 池田中將正重ノ女 法名元安院殿理眞神女 佛宗戒名他家ノ結縁ノ始ナリ
276 慶長九年甲辰二月二十三日産
天和三年癸亥十月九日報寿八十 祝部追山葬 実ハ熊谷中将ト云フ飯石郡中村毛利氏ノ息女
277 子 富士助 福富神主ハ分統ス
278 同 花女
279 同 止美士 秀乗 正親ノ 信勝 同 靖圓
280 同 久清 始 采女正勝 佛道ヲ好ミ入道了叔ト云フ食地式百貫アルトイフ
281 同 國女
282 田淵姓統

- 283 一世信勝左京之輔 家清未男 (マヤ) 元禄五壬申九月十八日報命
- 284 子 豊 三世ヲ相統京都ニ住ス 上加茂藤木家ヲ嗣ク
- 285 二世田淵和泉守從五位源重家 正徳三癸巳七月十六日報命
- 286 四十三世池田壹岐守從五位久清朝臣 重次ノ二男 (百九代 後水尾帝 德川家)

〔11ウ注〕

274 上 寛永二年乙丑三月 廿三日宣下從五位下 285 286 上 百十代 〇明正帝 雲岩寺ヲ改メ 妙岩寺號ノ祖

(12才)

- 287 寛永十二年乙亥十月十三日生 外加内 湛然院殿了叔大神主
享保六年辛丑五月三日八十七祝部迫山葬 寛永十七年庚辰七月二日生
- 288 室覺姫 池田民部大夫繁置ノ女 正徳元辛卯十二月十三日七十二 本覺院祐心神女
- 289 子 古屋女 享保十七年壬子十一月十四日報寿
- 290 同 但馬祭女 元文四年己未正月廿七日報寿
- 291 同 宅久
- 292 ×同 武田神主 竹 神門神西幸之進 實ハ出雲郡久木八幡宮神主ノ子ナリ當家ノ孫ナリト云フ (×印ハ後人ハ六道勲? √加筆:旦)
- 293 同 天津女 元禄七甲戌九月廿五日報寿
- 294 同 平弥 右同十七日
- 295 同 哥傳 宝永四年丁亥正月廿八日報寿
- 296 四十四世六道神主池田友意源宅久 清 始 由記 朋意 久清男
寛文十一年辛亥正月十七日産、
寛延四年辛未三月八日報寿八十一祝部迫葬 雲峯院智端神主 (マヤ)
- 297 島根県六道町、大森神社旧神職六道 (池田) 家蔵『勲業六道家正系』(二)

298 室貞姫 來待神主土屋氏ノ女 天和三癸十月九日生 孝屋院貞順神女(屋、江ノ上二屋ト書キ直ス：旦)
後土谷ト改ム 明和三戊戌四月二十一日八十四葬

299 子勘弥 元禄十七年甲申六月十四日葬

〔12才注〕

287 289上 明暦二年丙未三月十八日宣下從五位下「享保七年寅生」廿二代「武田元馬源昌常」花押○(○花押省略：旦)

290 295上 第廿二代目意宇郡「佐々布村大森大明神之」神主池田宮城二男也「筑後死後數尾幼少」ニ付成入掣寶曆十「年辰八月家督」明和四亥年十二月「御指名ニ付主馬ト改」号寶曆十辰六月「十四日任續目官」文化三丙寅三月廿五日「卒行年八十五才」室川瀨重定女(寅、辰ノ上ニ書キ直ス：旦)

296上 百十三代明正帝(墨線ニテ抹消：旦)○靈元帝

298上 土谷土師氏姓ナラン

(12ウ)

300 同 世幾女 宝永四年丁亥四月十一日葬

301 同 佐秀喬久 寛延四年辛未閏六月十五日葬

302 同 加茂神子和泉姫 明和七年庚寅五月十六日葬 圓屋院陽通神女

303 同 津祢女 明和七年庚寅五月十六日葬

304 四十五世池田神主豊喬久 童名全 佐秀 直久 宅久二男 恭山院殿祖儉神士

305 宝永七庚寅二月十一日生 安永四年乙未九月二十二日報寿六十六祝部追葬 恭山院殿祖儉神士

306 室林姫 平田神主川瀬氏ノ女 享保六辛丑十一月二日生 萬鏡院保寿神女

307 〇子周久 神主上総(四十六世) 寛政十二庚申十月朔日報寿八十祝部追葬 清定

308 同 景清 玄弘 加茂医家 池田氏 二代目玄弘兄弟ナリ

〇ト(四十六世)ハ後人ハ六道勲：ノ鉛筆ニヨル加筆：旦

309 同 高清 良益 松江医家 幼名幸丸良昌 石井氏 (下方ニ石井ノ陰刻ト陽刻角印各一ヲ捺ス：旦)

310 同 高久 白神檢校 大原郡佐世村神寮 原主税 浪衛

311 ○同邦尾 滿穂(四十七世) (○ト(四十七世)ハ後人ハ宍道勲?ノ鉛筆ニヨル加筆：旦)

312 同 長子 友治 延享元年甲子九月廿九日葬 幼泡童子

〔12ウ注〕

304 306 上 百十四代東山帝(墨線ニテ抹消：旦) 百十五代 〇中御門帝 享保二十一年三月廿日 神道管領三位兼雄 祠官職 佐

秀直久 308 上 寛政十一年己未年 寄進帳ニ池田玄弘戌ノ年男トアル 309 上 松江寺町 石井良昌卯歳男

上 明和八年三月廿三日 風折烏帽子狩衣 正二位兼雄 浪衛

(13才)

313 同 太利女 三才 宝曆六年子正月十二日葬 春夢童女

314 同 鈴之丞 宝曆三年三月四日葬 露陽童子

315 同 梅麿 宝曆十三未十月廿七日葬 籬霜童子

316 同 婦美女 金本神主室 今市町也

317 四十六世池田上総宍道重香 又周久 喬久二男 法名梅栄院淨林神士

318 ○外垣内 延享元年甲子六月十三日産 天明五年乙巳五月二十五日報壽四十二 祝部迫葬 (祝部迫ヲ墨線デ抹消、右横ニ外垣内ト峰清ニヨル訂正。更ニ外垣内右脇ニ赤ボールペンデ後人ハ宍道勲?ノ棒線加筆：旦) (行頭の○外垣内赤ボールペンデ宍道勲ニヨル加筆：旦)

319 室多美女 島村金築神主ノ女 宝曆三年癸酉十月九日生玉抱院貞瑞神女 安永六丁酉十一月十五日壽二十五祝部迫葬

子 止美女 羽根村社司和田守佐太美妻トナル

同 蓮女 享和二年壬戌八月十七日葬 涼室貞薫神女

室住姫 大東宮沢神主ノ女 宝曆十一辛巳七月九日生 神靈院知通神女
天保十三壬寅八月四日八十二新祝部迫山葬

子 重吉

同 捨丸 天明七未七月十四日

325 四十七世池田満穂六道邦教 又邦亭 喬久九男 満應院宜穂神士

〔13才注〕

317 上 ○百十六代櫻町帝 318 319 上 明和八年三月廿三日「神主職」神祇管領長上「正二位卜部兼雄」但馬周久

325 上 ○百十七代桃園帝

(13ウ)

326 ○外垣内 宝曆十二年壬午九月十七日産 外垣内ノ右脇ニ赤ボールペンデ後人ハ六道勲?ノ棒線加筆:旦) 文化元甲子十一月十一日報壽四十三祝部迫山(祝部迫ヲ墨線で抹消、右横ニ外垣内ト峰清ニヨル訂正。行頭の○外垣内、

327 室住姫右同 壽八十二重吉重芳重章三世ヲ養育 天保十三寅八月四日幽迁 赤ボールペンデ六道勲ニヨル加筆:旦)

328 子梅之助 寛政四年子閏二月十日葬 神靈院知通神女 祝部迫山ニ葬ス 外垣内(宮ノ後ノ墓地)埋葬 智淨童子

329 ○外垣内同種重 通称重美 天明八丙申十一月十一日生 森嶺院常見神士 文化十三丙子三月十一日壽二十九祝部迫葬外垣内ニ葬ル

(左行ノ外垣内右脇ニ赤ボールペンデ後人ハ六道勲?ノ棒線加筆:旦)(祝部迫葬ヲ墨線で抹消、下ニ外垣内ニ葬ルト峰清ニヨル訂正。行頭の○外垣内赤ボールペンデ六道勲ニヨル加筆:旦)

330 四十八世池田神主石見重吉 重香長男 法名石峯院珠見神士

331 ○外垣内 天明元年辛丑三月七日生
文化十五年戊寅三月十八日報寿三十八祝部追葬外垣内墓所ニ埋葬

(外垣内墓所ニ埋葬ノ右脇ニ赤ボールペンデ後人ハ六道勲?ノ棒線加筆:
旦) (祝部追葬ヲ墨線で抹消、下ニ外垣内墓所ニ埋葬ト峰清ニヨル訂正。
行頭の○外垣内赤ボールペンデ六道勲ニヨル加筆:旦)

332 室志嘉姫 美談神主高橋氏ノ女 寛政二己戊五月四日生 全貞院容體神女
文化十四丁丑十一月八日壽二十八祝部追葬

333 子 重久 同重章 末子重吉ノ三男也

334 同 柳女 壽六才文化十四丁丑十月十二日死 幻玉童女
一名ステト云フ

335 同 萩麻呂 壽四才文化十四丁丑十月七日葬 幻忠童子

336 四十九世池田神主薩摩重芳 又重久 重吉長男 宝山院觀珠神士

337 文化六年己巳三月五日産
文政八年乙酉十月朔日報寿十七新祝部追山葬

338 室多美姫 佐世白神檢校 原氏ノ女 (小野ヲ墨線デ抹消左横ニ原ト峰清ニヨル訂正:旦)
文政八乙酉四月嫁入同十月朔日不縁

玉造村於
遠藤家死

〔13ウ注〕

326 327上 天明六年七月廿日「神主許状」管領長上正二位良延」邦彦 邦教

廿四日「神主職」管領長上正二位良俱」石見重吉 336 338上 ○同帝「文政二年正月四日」許状之神主」神祇管領良長」薩

重芳

(14才)

339 五十世六道神主幸雄出雲勲業重章出雲臣 幼名 年千代 兵庫之助 造酒
治農 重矩 奇工名笹生ニ休

340 大國主尊像 文化十四年丁丑九月十七日産 重吉ノ三男也 明治ノ度幸雄ト改ム
一千三百七十余 明治三十七年甲辰八月廿二日午后一時卅分報命陰曆七月十二日同日夜葬歳八十八祝部追山ニ葬ル
鉢自刻ナル

鳥根県六道町、大森神社旧神職六道(池田)家藏『勲業六道家正系』(二)

室時姫 美談神主高橋清義ノ女 文政元年戊寅八月朔日産
明治十八年乙酉十二月一日報命同日祝部廻山葬歳六十八

子 峯清 天保六年乙卯三月廿九日出生父幸雄二十歳ノ時轉宅峯清五才冬十一月二十一日ヲ以テ家ノ誕生ト云フ

同 利木女 天保十一年庚子三月三日生 医師大坪行藏改一翁妻二嫁ス

同 重清 主計 弘化元年甲辰七月十六日生 後加壽枝ト改ム
明治三十九年丙午一月八日陰曆乙巳十二月十四日午前五時報命歳六十三

同 實熟 四良三郎 嘉永元年戊申三月三日生 玉嶺童子
嘉永四年辛亥五月四日葬

同 井久女 後三井改 嘉永五年壬子二月七日生
明治十一年十二月十七日於宍道家報命美談村二葬ル

五十一世宍道神主早素雄出雲勲業峯清 重章長男 幼名智恵丸 若狭 六丸 意丸
天保六年乙卯三月二十九日産、大正八年八月廿六日帰幽 木鱗道人 (木鱗道人ハ峰清晩年ノ手跡カ：旦)

348 室道女 日御喜神西上官小野行学女 嘉永元年戊申六月二十五日生
昭和十二年十一月廿七日帰命九十歳 (昭和以下別筆ハ宍道藤三郎カヅニヨル加筆：旦)

349 子 穂見女 慶應三年丁卯七月廿九日生松江市士族栗崎久之助妻ニ入嫁ス (松江市以下別筆ハ宍道藤三郎カヅニヨル加筆：旦)

350 同 清女 スカ 明治七年戊五月十六日生
昭和二十四年十二月二十八日豊中市岡町南五ノ二栗崎実方ニ死ス (左行青インクニヨル宍道勲加筆：旦)

351 同 清女 明治七年戊五月十六日生

〔14才注〕

339 上 ○百二十一代仁孝帝 340 344 上 文政十三年後三月十一日 許状神主職 神祇管領長上 正三位良長上 造酒治晨

宍道幸雄ト改ム 幼名年千代 任職造酒 兵庫之助 八十八ニテ幽迁幸雄 笹生二休ノ號アリ 347 349 上 宍道峰清 嘉永五

年壬子 後二月二十六日神主職 任許 管領長上正三位良 芳卜部朝臣 峰清事若狭 重久

(14ウ)

352 同 秀磨 元治元年二月廿七日産 実ハ楯縫郡奥宇賀村佐々木嘉仲三男 (同秀磨ヲ墨線ニテ抹消：旦)
明治十三年庚辰十一月二十七日故アリテ郷里ヘ処ス 飯石郡松笠村ノ神職某方ニ死ス (明治カラ処ス峰清ニヨル朱筆：旦)

353 同 ^{シゲル} 森 改繁 明治十二年卯十二月三日産 住友繁ト改ム後田村家相續奈良市角振町住 (奈良カラ角振町原文ニ行ハ旦)
実母親女ハ文久元年辛酉五月廿八日生 産籍大阪北久太郎町三休橋北側ニ軒目

354 同 時女 明治十九年戊五月十六日産 來待村遠藤年郎妻トナル
母神西道

355 同 稻女 ^{亥子ノ字ヲ} 明治二十一年子一月十一日産 松江市士族本多正鑑妻ニ入嫁 (松江ノ入嫁墨線ニテ抹消ハ旦)
相當ス 大正元年明治四十五年六月一日不縁 大正二年癸丑八月廿三日岡山人中村豊太郎妻ニ嫁ス又台灣基隆ニ於テ
実ハ娘穂美ノ長女ナリ故アリテ峰清四女トナル (大正元年カラ不縁マデ 原文入嫁ニ続クハ旦)

356 同 三卯女 母ハ神西ミチ 明治二十四年辛卯三月十一日申日死旧曆二月一日

357 五十二世六道藤三郎 字不二三ト称ス 昭和三十四年九月二日鳥取市西大路七九ノ六に於て死去
(八東郡大庭村平原 石倉常男一男) (コノ2行六道勲加筆ハ旦)

358 明治五年 申九月一日出生 分骨して祝部迫山及鳥取市西大路六道みつ墓地
に埋る (コノ2行六道勲加筆ハ旦)

359 室壽賀 清 ^{スガ} 明治七年戊五月十八日出生 祝部迫山葬 (コノ1行六道勲加筆ハ旦)
昭和十八年三月二十七日帰命

360 子 慶子 長女 明治三十三年 子六月廿三日出生 津和野の産小浜節郎に嫁す (津和野以下六道勲加筆ハ旦)

361 同 勲 長男 明治三十五年壬寅六月二十日陰曆五月十五日未明出生直子ニ長門國下ノ關六道恒樹氏へ通信ス命名勲

362 同 達 次男 明治四十二年酉一月一日出生届實ハ明治四十一年申十二月廿四日未明出產

363 五十三世六道 勲 (本行以下7行六道勲ノ加筆ハ旦)

364 明治三十五年六月二十日鳥根県八東郡六道村大字佐々布七三六に於て産る
(六道勲氏は昭和58年10月4日没ハ旦)

〔14ウ注〕

353 上 田村繁 354 355 上 明治二十年旧七月本庄 水谷後藤務へ養女ニ 行同人十三歳ノ旧十月帰家 十六歳ナル旧六月十

五日 遠藤家へ嫁ス直子ニ 北海道虻田郡俱知安へ行 358 上 六道みつ 昭和四十七年十月二十三日 午前二時二十分死去

八十七才 (六道みつ以下六道勲ノ手跡ハ旦) 360 上 明治三十三年五月 皇太子大婚ノ御慶事故ニ 慶子 ト命名ス

361 上 明治三十五年十月廿二日 六道恒樹翁栗谷勝幹氏 峰清カ宅へ來泊全廿七日出生立

(15才)

(以下宍道勲氏の妻子に関する事項5行を省略…旦)

(以下無記入…旦)

(続)

平成15(03)年1月9日受理